

「自閉症の理解と支援・子どもたちが教えてくれた大切なこと」

～特別支援学校における事例から～

平成25年7月28日（日）10：00～15：00札幌エルプラザ大研修室において「自閉症の理解と支援・子どもたちが教えてくれた大切なこと」～特別支援学校における事例から～が開催されました。57名の方にご参加いただきました。

冒頭の部分では「アセスメント」の重要性について教えていただき、その後は辻山先生が自閉症支援の現場における実際の事例やエピソードをたくさんの写真とともにご紹介いただきました。

辻山先生の持論である「論拠を持った教育」「教育は科学」についてたびたびお話ししましたが、その根底には子どもたちへの「深い愛情」があることが伝わってきます。「環境を整えば、教育は生きる。学校は、教育する場。そして私たちは教育のプロ。子どもたちの未来のために何をするのか。」先生がご自分に問いかけ続けてきた答えは・・・この春、特別支援学校高等部をご卒業されたときの卒業写真に写った教え子さんたちの笑顔にみつけることができました。後半の部分では、参加者の皆様から事前に寄せられたご質問に対して、ひとつひとつ丁寧にご回答いただきました。

今回は保護者の皆様のほか、福祉や相談の現場の方、教育現場の先生方、未来の特別支援教育に関わる学生の皆様にもご参加いただきました。辻山先生のお話をそれぞれのご家庭や現場に持ち帰っていただけたらと思います。そして自閉症のお子さんたちに関わる皆様が連携することにより、それぞれの特性に合った適切な支援に繋がることを願ってやみません。



最後になりましたが、貴重な休日にも関わらず、お忙しい中、講師をお引き受けくださいました辻山先生、とても素敵なお話をありがとうございました。そして、会場に足をお運びくださった皆様に心から感謝申し上げます。（今西 浩子）

